

# 星城懇話会

第 31 号

2019. 3 発行

発行：星城懇話会事務局 〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 TEL 052-689-6002/FAX 052-689-6003

## CONTENTS

>>教育講演会

>>会員交流会

>>赤岡功学長受勲報謝公開講演会

藤井聡太七段の師匠 杉本昌隆八段



# 教育講演会開催



【 熱弁される杉本八段 】

平成31年2月18日(月)、星城大学 名古屋丸の内キャンパスにおいて、「私の指導法」と題して、現役の将棋棋士で、藤井聡太七段の師匠でもある杉本昌隆八段をお招きして星城懇話会教育講演会を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、寒さも和らぎ春を感じられる暖かな日となり、会場いっぱいの方にご参加いただきました。



【 藤井七段とともに 】

はじめに星城懇話会浦野会長及び星城懇話会石田名誉会長（名古屋石田学園理事長）より挨拶があり、講演会が始まりました。

今ブームの将棋界で活躍されている杉本八段の講演は、なかなか知ることが出来ない将棋の世界、またそこで育まれた師弟関係について、様々なエピソードとともにお人柄・人間性がにじみ出たお話で、ときにユーモアが交じると会場が笑いに包まれました。ご多忙中、たくさんの方に足を運びいただき、誠にありがとうございました。



【 石田本部長、石田理事長、杉本八段、浦野会長 】

※ 杉本八段は2月18日の講演会時は七段でしたが、同月22日、八段に昇段されましたので、八段としています。



杉本八段 教育講演会

「私の指導法」



—— 何よりも個性が大事 ——

杉本八段は、弟子藤井七段について、「幼少の頃から、誰に強要されることなく、自分で目的を見つけてのびのびとやって強くなっていったタイプ」で、「先入観を持たず、自分の信念を持っている。」「見ていると思うのは、個性が大事ということ。」とお話されました。

そして、将棋の世界の“良い師匠”とは、「高い技術、ノウハウをそのまま教えるのではなく、弟子にとってやる気を起こさせる、強くなりたいと思わせる、思わせられる」人であり、「本気になる、本気にさせてあげる」ことが役目であると語られました。

また、「一番弟子より、二番目、三番目に目をかけ強くする」ことで、「強力なライバルの存在が成長を促す」、「教えるのではなく、後ろから見守ることで個性を伸ばすことができる」と話され、「棋は対話なり」「長考の半返し」という将棋界の言葉からも、礼儀、節度、そして自分で考えることの大切さを語られました。

将棋は、身近な日本文化ですが、なかなか特殊でもあるその世界について、豊富なエピソードとともにユーモアを交えながらとても分かりやすくお話してくださり、多くの学びが得られた講演会となりました。

参加者からも、「大変参考になった」「とても楽しかった」との声を多くいただきました。



【杉本八段のお話に引き込まれました】



【子供の頃の藤井七段との微笑ましい光景】

【参加者の声】

- 指導者としての心構えに、人間性に感銘を受けました。
- 将棋の世界のことが良くわかりました。
- 個性を生かす指導は言葉以上に難しいと感じました。





# 星城懇話会 会員交流会

12月4日(火)、名古屋ガーデンパレスにおいて、「平成30年度星城懇話会 会員交流会」を開催いたしました。

今年のイベントでは、神谷茂良さん率いる「津軽三味線 味胤」による津軽三味線の演奏を聴きました。演奏が始まると、普段耳にする機会の少ない「津軽三味線」の大迫力の演奏と、その演奏にのせた土田真由美さんの澄んだ歌声に会場は包み込まれました。会員の皆さまの手拍子も加わると演奏会は一気に盛り上がりました。



【「津軽三味線 和胤」のメンバーの皆さんと歌手土田さん】

## ♪「津軽三味線 味胤」演奏会♪

演奏会終了後の交流会は、浦野廣高会長、石田正城名誉会長の挨拶の後、石黒大山理事の乾杯でスタートしました。会場では、名刺交換、異業種交流が盛んに行われ、おいしい料理とともに、皆さまと賑やかな時間が流れました。

毎年恒例の「企業 PR」の時間になると、「タケショウ株式会社」様、「サンポッカサービス株式会社」様とフレッシュな顔ぶれから、「株式会社近畿日本ツーリスト中部」様、「株式会社 JTB」様など、お馴染みの方々も次々と登壇され、熱く自社をPRされました。



【皆さまの手拍子で会場は盛り上がりました】



【多くの会員様にご参加いただきました】

最後に西川右近理事より閉会のお言葉をいただき、参加者一同「名古屋ナモ締め」で締めくくりました。

約130名の会員様にご参加いただき、大変有意義な時間となりました。

お忙しい中、多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。



★盛んな名刺交換と交流が行われました★



【企業 PR】



# 星城大学 赤岡功学長 瑞宝重光章受勲 報謝 公開講演会

## 「細井平洲師・上杉鷹山公の経済政策は 国連国際目標 SDGsの先駆だった」

※SDGsとは、Sustainable Development Goals  
(持続可能な開発目標)



2月16日(土)、星城大学4号館において、星城大学赤岡功学長の瑞宝重光章受勲報謝公開講演会が開催されました。赤岡学長は秋に受勲され、受勲の感謝の気持ちを表したいという強い思いから今回講演会が開催されました。会場にはお祝いのご挨拶のため広島からいらっしゃった方も含め、約300名の方がお見えになりました。

オープニングでは、東海市  
ふるさと大使の春風弥里様



【春風弥里さん】

【赤岡学長の講演を熱心に聴講いただきました】

(元宝塚歌劇団)が「すみれの花咲く頃」などを、赤岡学長の数々の功績や思いを胸に力強く歌われ、とても華やいだ雰囲気になりました。

赤岡学長からは、はじめに、受勲の報告があり、受勲の様子について、ユーモアを含めた説明に参加者も笑みをこぼしながら傾聴されていました。

講演「細井平洲師・上杉鷹山公の経済政策は国連国際目標 SDGsの先駆だった」は、細井平洲師・上杉鷹山公の生い立ち、時代背景、それから考え出された政策の紹介から始まり、平洲師の教えを受けた鷹山公は数々の政策を行いました。その政策の目的と、現在世界で注目されている「SDGs」が通じているということ、各政策の具体的内容とともに説明されました。

報告会の後、懇親会に移り、参加者の方々は東海市民謡(踊)保存会の方々の踊りを鑑賞し、お茶とお食事をいただきながら、ご歓談を楽しまれました。

【踊曲目「如来山人」をご披露いただきました】



## 新規会員募集

「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会の活性化に貢献することを目的とし、平成18年に発足いたしました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続けてまいりました。

【星城懇話会事務局】 TEL : (052) 689-6002/FAX : (052) 689-6003

昨今の殺伐とした環境下におきまして、地域社会との連携により一層力を注ぎ、会員の皆様、会員企業の方々のご活躍及びご発展を目指して、少しでも皆様方に寄与できるように企画運営しております。ぜひ、ご興味がある方々にご紹介いただきますようよろしくお願いいたします。